

栃木県及び周辺の地震活動（令和 7 年 5 月）

【地震活動概況】

今期間に県内で観測した最大震度は 3 でした。期間内に県内で震度 1 以上を観測した地震は 11 回（前月 8 回）、震度 3 以上を観測した地震が 1 回（前月なし）ありました。

【栃木県及び周辺の地震活動】

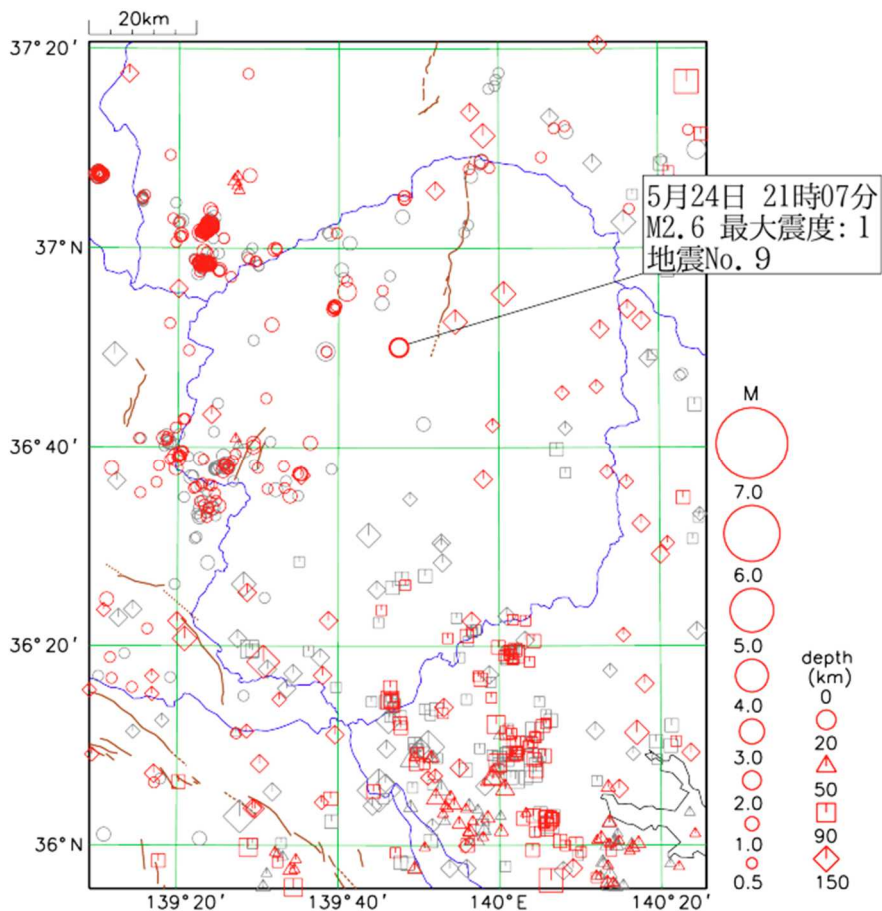


図 1 震央分布図（2025 年 4 月 1 日～2025 年 5 月 31 日）

- ・今期間の地震活動を赤色で、前月の地震活動を灰色で示しています。
- ・図中の吹き出しを付けた地震は、県内震度観測点で震度 3 以上を観測した地震及び県内を震源とする震度 1 以上を観測した地震です。地震 No. は県内で震度 1 以上を観測した地震のリストに対応しています。
- ・M はマグニチュードで 0.5 以上、深さ（depth）は 150km までの地震を示しています。
- ・図中の茶色線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示しています。

本資料は国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022 年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、EarthScope Consortium の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。※データについては精査により、後日修正することがある。また、本資料中で使用している地図は、『数値地図 25000(行政界・海岸線)』（国土地理院）を加工して作成した。

【5月に県内で震度1以上を観測した地震のリスト】

地震 No.	発震時		震央地名	北緯	東経	深さ (km)	マグニ チュード	国内最 大震度	県内最 大震度
	月日	時分							
1	5月4日	12時35分	東京都23区	35° 41.2'	139° 47.1'	82	4.1	2	2
2	5月5日	1時34分	茨城県沖	36° 23.3'	141° 02.1'	41	4.2	2	1
3	5月8日	21時21分	福島県中通り	37° 16.6'	140° 23.6'	89	3.6	1	1
4	5月13日	8時33分	茨城県南部	35° 56.4'	140° 06.3'	66	3.9	2	1
5	5月13日	10時37分	福島県中通り	37° 08.2'	140° 31.1'	79	4.6	3	3
6	5月15日	2時05分	茨城県南部	36° 06.7'	139° 59.2'	48	3.4	2	2
7	5月15日	14時05分	福島県中通り	37° 05.9'	140° 38.4'	8	4.0	2	1
		14時05分	福島県中通り	37° 06.0'	140° 38.5'	7	3.4		
8	5月19日	12時14分	福島県沖	37° 10.8'	141° 18.8'	7	4.7	2	1
9	5月24日	21時07分	栃木県北部	36° 50.0'	139° 47.5'	5	2.6	1	1
10	5月27日	0時33分	茨城県沖	36° 07.4'	141° 00.7'	46	4.2	2	1
11	5月28日	15時49分	福島県沖	37° 01.1'	140° 59.4'	92	3.6	1	1

- ・地震No. 7の地震は、短い時間の内に起きたため、地震と震度の分離ができませんでした。
- ・各地震の震度1以上を観測した観測地点名については、気象庁HP「震度データベース検索」により確認できます。

<https://www.data.jma.go.jp/eqdb/data/shindo/index.html>

【震央分布図範囲内の地震】

1. 栃木県北部（地震No. 9）

24日21時07分に栃木県北部で発生した地震（深さ5km、M2.6）により、栃木県の日光市鬼怒川温泉大原で震度1を観測しました（図2）。

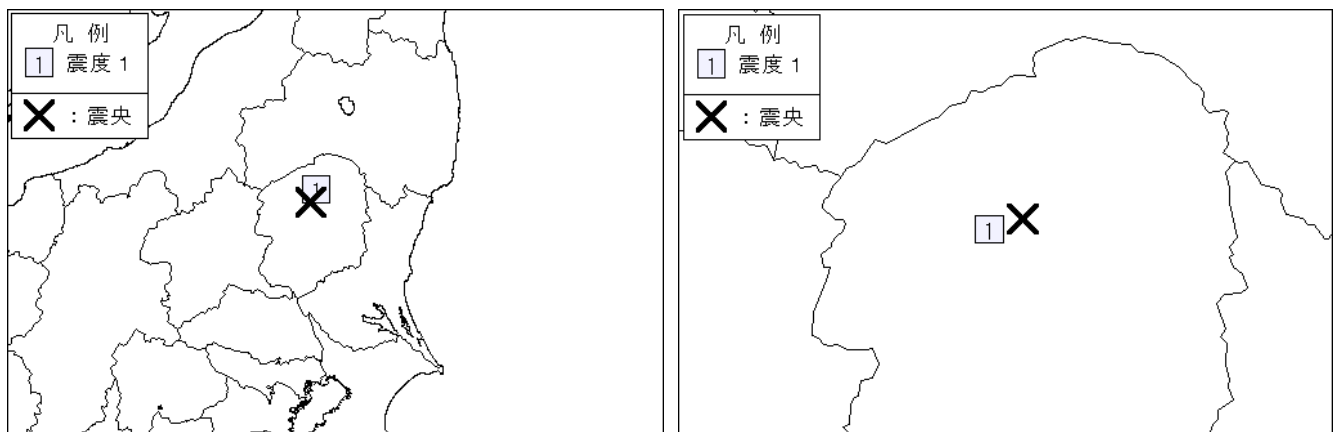


図2 24日21時07分 栃木県北部の地震 左図：地域震度 右図：地点震度

【震央分布図範囲外の地震】

1. 福島県中通り（地震No. 5）

13日10時37分に福島県中通りで発生した地震（深さ79km、M4.6）により、栃木県、福島県、茨城県で震度3を観測したほか、東北地方から関東地方にかけて新潟県で震度2から1を観測しました。栃木県では大田原市、那須町で震度3を、10市町で震度2を、11市町で震度1を観測しました（図3）。

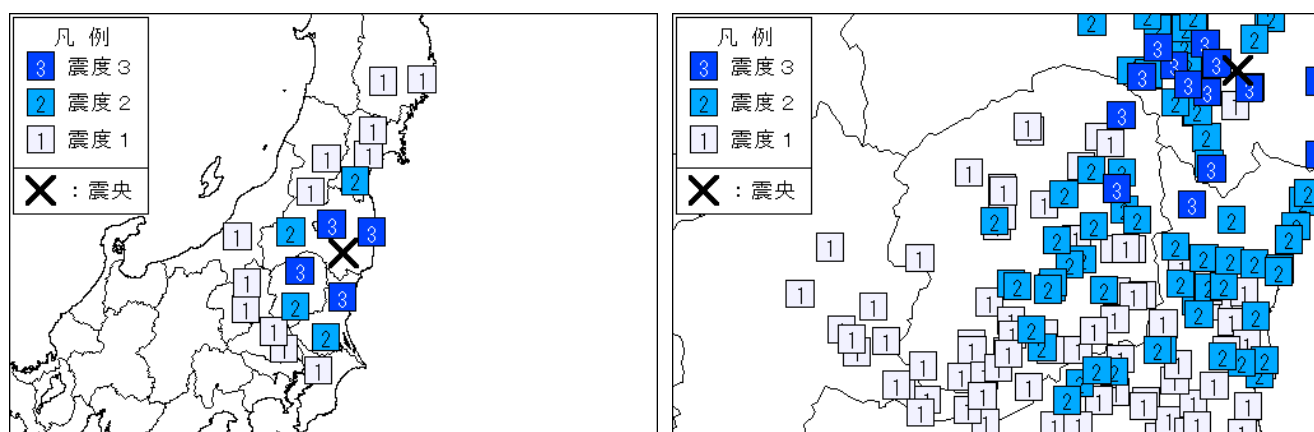


図3 13日10時37分 福島県中通りの地震 左図：地域震度 右図：地点震度

【防災メモ】地震を予測することはなぜ難しいのか

「地震はいつ・どこで起きるのか?」、こんなことを皆さん1度は考えたことがあるのではないのでしょうか。しかし、地震が起きる日時、場所、大きさの3つの要素を精度よく予測することは、現代の地震学の水準では難しいと考えられています。3日後の天気は予測できるのに、3日後の地震発生はなぜ予測できないのでしょうか。今回は地震の予測が難しい理由についてお話します。

地震の予測が難しい理由、それは私たちに見えない地下という場所で、いつ・どこで・どのくらい岩石が破壊されるかを事前に当てるのは非常に困難であるからです。

例えば風船を膨らまして破裂させることを考えてみましょう。私たちは風船が膨らんでいくと破裂する可能性が高まることを知っていますし、何回か破裂させることを経験することによってだいたいこの大きさに割れそうだと予測を立てることもできるでしょう。風船の表面を観察してキズがあれば早期に破裂してしまうということもあるかもしれませんね。しかし、風船がここで、この大きさに割れると正確に予測することは困難です。なぜなら、風船が破裂するタイミングはゴムの厚みやムラ、表面の傷や汚れ、空気の入れ方、温度や湿度、周囲の震動といった様々な要因により決まりますが、これら要因を完全に把握することはとても難しいからです。

これは岩石の破壊に関しても同じことが言えます。加えて、地下深くの岩石がどのような状態になっているかを直接観測できないため、大きくなる風船の観察すら満足にできていないことになります。地震を精度よく予測することがいかに困難であるかがわかんと思います。

4つのプレートがひしめき合う日本列島は、いわば破裂しそうな風船が床下に敷き詰められている状態とすることができます。そこに住んでいる私たちがとるべき行動としては、大きな風船がいつ、どこで破裂しても大丈夫なように準備や心構えをしておくことではないのでしょうか。

・地震予知について

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/faq/faq24.html>

・地震から身を守るために

https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/jishin/jishin_bosai/index.html

資料についての問い合わせ先：宇都宮地方気象台 電話 028-635-7260